

令和元年度 事務事業総点検シート(1)

[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	外国青年(国際交流員)招致事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	文化観光	局	国際	部	国際
				課	評価責任者(課長名)
					永野

<< I. 基本情報 >>

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	5	国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり	無
	2	事業開始年度	平成 3 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	「堺市国際化推進プラン(改訂版)」(平成25年3月発行)及び追補版(平成30年3月発行)			
5	事業実施の経緯	本市の国際化を推進すべく、外国語の翻訳・翻訳監修、外国人賓客接遇時の通訳、地域民間国際交流団体等に対する助言及び協力、本市職員への語学指導及び地域住民の異文化理解への協力などの面で、ネイティブの人材を活用していくため、外国人青年の招致を実施している				

<< II. 事業概要 >>

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	在住外国人を含む市民、本市職員、外国人賓客等			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	地域レベルでの国際交流の推進、翻訳・通訳を通じた地域の外国人市民の環境整備、海外姉妹・友好都市との交流の促進、及び市内の人材育成を推進することを目的とする。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)が実施するJETプログラムに基づき国際交流員を招致し、次の業務に従事している ・国際交流関係事務(通訳・翻訳・監修、外国人賓客の接遇等) ・本市職員に対する語学指導への協力 ・地域民間国際交流団体の事業活動に対する助言 ・地域住民の異文化理解のための交流活動及び在住外国人生活支援			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 一般財団法人自治体国際化協会				

<< III. 投入量 >>

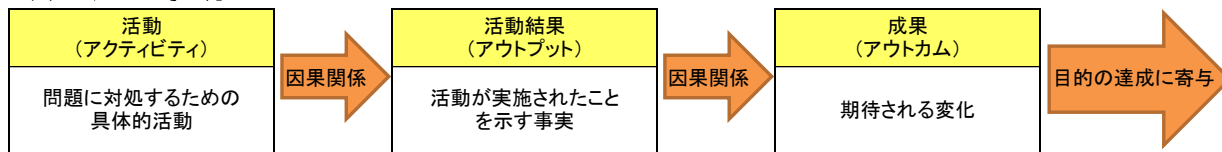
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算		
事業コスト	11	事業費 (a)	千円	11,187	11,151	11,450	11,965	
	主な事業費内訳	国際交流員報酬	千円	6,874	7,171	6,906	7,120	
		(一財)自治体国際化協会等負担金	千円	1,458	1,458	1,644	1,627	
			千円					
			千円					
		財源内訳	国・府支出金	千円				
			受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債		千円					
		その他(職員公舎貸付料)	千円	1,442	1,442	1,434	1,442	
		一般財源	千円	9,745	9,709	10,016	10,523	
	12	人件費 (b)	千円	3,620	3,680	3,680	3,660	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	14,807	14,831	15,130	15,625		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	外国青年(国際交流員)招致事業	シート番号	08-21
-------	-----------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	英語圏および中国語圏の国際交流員による翻訳・翻訳監修、外国人賓客接遇時の通訳、本市職員に対する語学指導への協力等について、施策における事業の優先度が高く、翻訳・通訳をはじめ、国際交流に関するイベントやサービスを随時提供することができている。2か月に1回、英語及び中国語でのニューズレターを発行し、外国人市民へ生活情報を発信している。						
		また、国際交流員については、JETプログラムによる研修支援もあり、質の高い活動及び市民サービスを提供できている。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		外国語の翻訳監修依頼件数	件	目標値	100	100	100	100
				実績値	141	97	99	
				達成率	141%	97%	99%	
	評価			大変良い	普通	普通		
	算出方法・設定根拠など		庁内・外からの翻訳及び翻訳監修の依頼件数を計上している。					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		生涯学習(出前)講座の依頼件数	件	目標値	4	10	10	10
				実績値	20	14	6	
				達成率	500%	140%	60%	
	評価			大変良い	大変良い	少し悪い		
	算出方法・設定根拠など		まちづくり出前講座における当課が受け持つ講座に対して開講依頼があり、開講した件数を計上している。					

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>国際交流員の活動は国際交流関係事務をはじめ、地域住民の異文化理解に大きく貢献していることに加え、招致に係る経費については、地方交付税による財政措置があるため、民間で実施するよりも費用負担も少ないことから、費用効果の高い事業と考える。</p> <p>なお、生涯学習(出前)講座の依頼件数の未達成については、一定の実績と学校校長会でのPR等を通じて、周知がされてきているという認識のもと当該年度は学校校長会でPRをしなかったことに起因すると推察される。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。